

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由		
1	大洲市総合戦略策定事業	基礎交付	8,416,000	指標①											
2	認定品等供給力強化支援事業	基礎交付	24,000,000	指標①	大洲らしい食を提供する飲食店数	2	倍	H28.3	2	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		追加等更に発展させる	継続的に取組みを進めるとともに、事業者の希望するターゲットや商品の価値等に応じた販路拡大を支援し、専門家の協力を得ながら、魅力のある特産品の開発・支援を進めるため。	
				指標②	日本三大いもたきザミツ産地産数	3,000	人	H27.10	8,000						
				指標③	日本三大いもたきザミツ取材マスキ数	5	社	H27.10	6						
				指標④	支援対象認定品等売上額増加	5	%	H28.3	14						
				指標⑤											
3	地域観光資源を活用した誘客促進事業	基礎交付	33,531,000	指標①	外国人観光客数増加	10	%	H28.3	77	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		予定通り事業終了	イベント等の実績を踏まえ、観光のあり方、情報発信の方法等を検討していくため。	
				指標②											
				指標③											
				指標④											
				指標⑤											
4	椎茸生産振興事業	基礎交付	3,981,000	指標①	平成27年度乾椎茸生産量	120	トン	H28.3	82	地方創生に効果はなかった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	前年度の実績を上回っており、継続的な取組により生産量の確保が必要である。	事業の継続	風評被害に伴う価格低迷の影響から、生産者、生産量ともに減少しているが、近年、価格が安定していることから、補助事業を継続し、生産者や森林組合等と連携しながら、植菌量の増加や後継者の育成を図り、目標とする生産量の確保に努めるため。	
				指標②											
				指標③											
				指標④											
				指標⑤											
5	食・特産品のブランド力強化推進事業	タイプ I	8,000,000	指標①	大洲らしい食を提供する飲食店数	2	倍	H28.3	2	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		追加等更に発展させる	継続的に取組みを進めるとともに、事業者の希望するターゲットや商品の価値等に応じた販路拡大を支援し、専門家の協力を得ながら、魅力のある特産品の開発・支援を進めるため。	
				指標②	日本三大いもたきザミツ産地産数	3,000	人	H27.10	8,000						
				指標③	日本三大いもたきザミツ取材マスキ数	5	社	H27.10	6						
				指標④	支援対象認定品等売上額増加	5	%	H28.3	14						
				指標⑤											
6	乾燥タケノコ生産拡大による竹林再生・利用	タイプ I	12,000,000	指標①	平成27年度竹林整備面積(市単独)	20	ha	H28.3	7	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	引き続き、乾タケノコの生産拡大に向けた竹林や資機材等の整備を支援しながら、森林組合等の関係機関と連携した生産体制の充実に努め、目標とする生産量の確保を図るため。	
				指標②	平成27年度竹林整備面積(国庫補助)	30	ha	H28.3	26						
				指標③	生産組織数	40	組織	H28.3	26						
				指標④											
				指標⑤											
7	南予地域事業承継先紹介支援に係る官民	タイプ I	2,559,976	指標①	事業承継困難企業(全体のうち)の承継困難状態を解消	10	%	H28.4	0	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	調査を踏まえ、関係機関と連携した仕組みづくりが必要である。	事業の継続	調査を踏まえ、商工会議所、商工会、金融機関等と連携を図りながら、南予全体で事業承継を支援する仕組みづくりを進めるため。	
				指標②											
				指標③											
				指標④											
				指標⑤											

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
8	えひめいやしの南予博実施事業	タイプI代替	14,000,000	指標①	平成27年度下半期主要観光施設入込数	242,765	人	H28.3	244,367	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった		事業の継続	昨年度のプレイベント、情報発信に引き続き、今年度、継続的な取組みにつながるイベントや団体の育成を進めていくため。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
9	椎茸生産振興事業	タイプI代替	10,000,000	指標①	平成27年乾椎茸生産量	120	トン	H28.3	82	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	前年度の実績を上回っており、継続的な取組みにより生産量の確保が必要である。	事業の継続	風評被害に伴う価格低迷の影響から、生産者、生産量ともに減少しているが、近年、価格が安定していることから、補助事業を継続し、生産者や森林組合等と連携しながら、植菌量の増加や後継者の育成を図り、目標とする生産量の確保に努めるため。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										

各事業の評価等を踏まえた地方版総合戦略の見直しの有無	見直しを行わない
----------------------------	----------

地方版総合戦略を見直した場合はその内容。見直しを行わないこととした場合はその理由	平成28年3月に総合戦略を策定し、今年度から本格的な取組みを進めることとしているため。
--	---